

第38回東海地区 みどりの少年団 サマージャンボリー を開催しました

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めることを目的とした「みどりの少年団サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団及び愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を、8月7日（水）から8月9日（金）までの3日間の日程で、三重県伊賀市愛田地内の「伊賀青少年野外活動センター」において開催しました。

今年は室生・赤目・青山国定公園内にある「伊賀青少年野外活動センター」において、2泊3日の日程で開催しました。

森林環境学習では「森の講話」と題して森や木の役割についての話を聞き、体験活動では実際に間伐作業の体験を行い、森林の役割や緑の大切さについて学びました。

また、忍者の服装に着替え「忍者修行体験」や、野外炊飯、ニジマスのつかみ取り、キャンプファイヤー、交歓会などの盛りだくさんの活動を行いました。

参加者は、愛知・三重・岐阜の13少年団99名（引率者含む）で、岐阜県からは、一之瀬みどりの少年団、多良峡もみじ少年団、海津市みどりの少年団、北方小学校みどりの少年団、牧谷小みどりの少年団の5少年団49名（引率者含む）が参加し、愛知県、三重県の少年団の子供たちと交流を深めました。

（公社）岐阜県緑化推進委員会 専務理事 佐藤 正吉



開会式「誓いのことば」



野外炊飯



森の講話



間伐体験



忍者修行体験



キャンプファイヤー

「岐阜県みどりの少年団交流集会」 を開催しました

8月2日（金）、関市小屋名の岐阜県博物館において「平成25年度岐阜県みどりの少年団交流集会」を、県内のみどりの少年団8団体92名（引率者含む）の参加を得て開催しました。



活動発表の様子



参加したみどりの少年団のみなさん



館内展示の説明を聞く様子



百年公園内の森林でオリエンテーリングの様子

交流集会の一環として行っている「みどりの少年団活動発表」では、多良峡もみじ少年団、池田町みどりの少年団、郡上東中学校緑化少年団が日頃の森林整備等の緑化活動や地域での環境活動、奉仕活動などについてパワーポイントを使って発表してくれました。また、昨年度この発表において最優秀に選ばれた東白川中学校緑化少年団からは特別発表として、昨年の発表にその後の活動も加えた内容で発表してくれました。

審査の結果は、審査員長の太塚光洋関市立寺尾小学校長からの講評の後で発表され、今年度の最優秀には多良峡もみじ少年団が選ばれました。

午後からの交流活動では、常設展の恐竜や自然展示物について学芸員の方から説明を受けました。

また、百年公園内の森の中に入り、自然散策オリエンテーリングなどを行い、有意義な一日を過ごしました。

（公社）岐阜県緑化推進委員会 専務理事 佐藤 正吉